

『観光まちづくり』を専門に学んだ学生による 卒業論文発表会



観光の未来を、若い視点から考える。
— 国学院大学 梅川ゼミ 卒業論文発表会 in 越後湯沢 —

発表の内容と価値

現場の声に基づく「観光まちづくり」 未来を考えるための「新しい視点」

学生の声に耳を傾き、地域の声や事業者の声から見た課題や可能性を提示します。

高校生には貴重なヒントも、観光事業者には次の一手を考える材料も提供します。

開催概要と参加方法

令和8年2月25日(水)
14:00~16:30

湯沢町公民館 3F 会議室

途中参加や途中退出も可視で、ご都合に合わせて参加いただけます。

どなたでも参加可能。高校の申し込みも歓迎いたします。

12名の学生による等身大の成果

専門知識がなくても理解できる、若手ならではの心ゆくまで発表の機会です。

全ての方を歓迎するオープンな発表会

高校生、大学生、地域住民、観光事業者など、どなたでも大歓迎です。

2月25日(水)、湯沢町公民館ホールにて、国学院大学 観光まちづくり学部 観光地経営研究室 梅川 智也教授ゼミ生による「卒業論文発表会」を湯沢 DMO 主催により開催いたしました。

全国唯一である、観光まちづくりを専門とする学部で学んだ12名の学生の視点による研究発表は、多角的で新鮮かつ、丁寧に深掘りされた内容で、フジロックを題材とした、『フェスツーリズム』の考察や温泉地における『おかみさん会』の存在意義など、我々湯沢町の観光組織関係者にとって、観光地経営のあり方について大変参考となる内容の濃いものでした。

来年の第2回に向け、梅川教授とゼミ生との繋がりをより太いものにし、令和9年度も湯沢町観光の転換期に向けた新たな関係人口の創出に努めてまいります。

一般社団法人 湯沢町観光まちづくり機構 代表理事 岡 淳朗

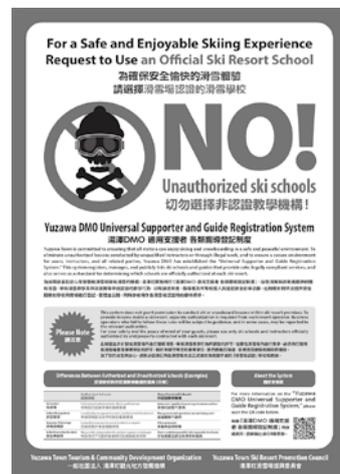


湯沢 DMO ユニバーサルサポーター各種ガイド登録制度 (海賊スキーインストラクター対応)

テレビ報道にもあるように、不法就労者によるグレンデ内での非公認レッスン行為が見受けられる中、湯沢 DMO では、町内すべてのスキー場と連携をして、DMO とスキー場でのダブル認証制度をスタートさせました。

インバウンドゲストを含む湯沢町へ来訪されるすべてのお客様に安心してレッスンサービスを受けていただけるスノーリゾートをめざして、民泊等の外国人事業者部会の整備を含む、仕組み作りの検証を行っております。

非公認レッスンの利用を防ぐために注意を呼び掛けるチラシを発行 (英・繁体字表記) ▶



物価高対策 新潟県民対象 新潟県版 GOTO トラベル&イート

※ 国の『GOTOトラベルキャンペーン』は、令和5年に終了、今回は新潟県独自の支援策となります。前回同様取り扱いには、事業所登録が必要になる予定ですが、詳細は、新潟県の確定を待って、あらためてまちづくり機構ウェブサイトにて、ご案内いたします。

問い合わせ先

湯沢 DMO (湯沢町観光まちづくり機構)

☎ 025 - 785 - 5505 FAX 025 - 785 - 5333 ✉ info@e-yuzawa.gr.jp



特集

かわらばん

トピックス

情報

生活

学園

生涯学習・スポーツ

健康・医療

観光